

案内

医学書院『看護研究』presents

EAFONS' Pre-Congress Webinar

日時：3月5日(日) 午前9:00～10:30

開催方法：Zoomによるライブ配信

講演：「質的データの二次分析」Prof. Cheryl Tatano Beck, DNSc, CNM, FAAN (University of Connecticut School of Nursing)

司会：池田真理（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野）
使用言語：英語（日本語同時通訳あり）

参加費：無料

対象：若手看護研究者、看護学生（大学院生、学部生）、看護教員

定員：800名

申込方法：下記Webサイトの申込フォームから

URL：<https://forms.office.com/r/J91K1r4y5q>

問い合わせ先：医学書院EAFONS2023
プレコンgresセミナー運営事務局

TEL：03-3817-5770（平日9:00～17:00）

E-mail：nr@igaku-shoin.co.jp

URL：https://kanlabo.igaku-shoin.co.jp/nr_seminar/index.html

募集

公益信託山路ふみ子 専門看護教育研究助成基金 第33回（2023年度）研究助成 候補者募集

主旨：看護実践の科学的根拠の確立、看護方法論の開発と評価および看護学の基盤となる研究を助成。人々の健康を脅かす社会的課題に挑戦する看護研究を期待。なお、軍事に資する研究には助成しない

助成金交付予定額および助成金使用期限：

(1) 1件150万円以内で、約20人に交付予定

※助成金使用期限は、大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の場合は修了予定日まで、博士課程修了後の研究生の場合は研究終了時まで。ただし、最長3年

(2) 助成金の使用内訳には、以下の制限がある

ア、パソコンおよびパソコン関連機器（ハー

ド）の購入費は20万円以内

イ、下記の費用は助成対象としない

授業料・学会参加費・論文作成費（英訳を含む）・データ入力およびテープ起こしなどに対する謝金

ウ、研究推進に直接必要な経費に充当するものとし、間接経費への使用および使用者の変更は認めない

応募資格：次のすべての条件を満たす者
(1) 自国の正規の看護師免許を受けている看護師

(2) 日本国籍を有する場合は国内または国外の大学院生*、日本国籍を有しない場合は国内の大学院生*のみ

*博士後期課程または5年一貫博士課程の正規生、もしくは博士課程修了後の研究生（いわゆるポスドク）として在学中で、看護学の諸分野を研究中の者

(3) 看護学の探求に熱意をもち、将来看護学の教育、実践または研究に携わる意志をもつ者

(4) これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者。ただし、博士課程修了後の研究生（いわゆるポスドク）はこの限りではない

なお、給与収入（フルタイム）がある者、2023年4月時点で大学院博士後期課程1年生、5年一貫博士課程1、2年生は原則として応募資格はない

応募方法：申請者が所定の申請書に記入し、当公益信託の受託者（下記）に電子メールで提出

注）ア、各用紙への記入はPC等活字入力（手書禁止）

イ、所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式を変更したり、所定のページ数を超えて記入した場合、応募は無効。印刷はA4用紙4ページ

ウ、申請書は、受託者三井住友信託銀行ホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロード

助成金受給者の義務：

(1) 研究成果の報告書（会計報告書を含む）を助成金使用期限までに当公益信託の受託者に提出

(2) 学位論文完成時、研究生は研究終了時には、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出

(3) 学位論文およびその他研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金より助成を受けた」旨を記載

(4) 当公益信託の事業において研究成果

の報告を課することがある

(5) 受給後に給与収入が発生した場合は、未使用の助成金を返金

申請締切日：3月17日（金）（当日中のメール着信分まで）

審査方法ならびに通知：当公益信託の運営委員会で、書類による審査のうえ採否を決定し、結果は5月上旬頃までに申請者に書面で通知

※受給者は5月26日（金）17:00から（予定）贈呈式に出席のこと

助成金交付期日：採択決定後、受給者の書類が整い次第すみやかに交付

申請書掲載URL：<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list.html>

電子メール提出先：kouekidenshi@smtb.jp

※件名【山路看護・申請者名】（表記必須）
照会先（受託者）：公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ

TEL：03-5232-8910（平日9:00～17:00）

FAX：03-5232-8919

E-mail：kouekidenshi@smtb.jp

※件名【山路看護問合せ】

募集

公益信託中西睦子 看護学先端的研究基金 2023年度研究助成候補者募集

主旨：保健医療福祉施設および地域等において、看護実践の成果の可視化および理論化を図ろうとする看護職の研究を助成。ただし、博士論文のための研究は対象としない。また、軍事に資する研究は助成しない

助成金交付予定額および助成金使用期限：

(1) 1件200万円以内で、約5人に交付予定

※助成金使用期限は、研究終了時まで。ただし、最長3年

(2) 助成金の使用内訳には、以下の制限がある

ア、パソコンおよびパソコン関連機器（ハード）の購入費は20万円以内

イ、下記の費用は助成対象としない
授業料・学会参加費・論文作成費（英訳を含む）・データ入力およびテープおこし

等に対する謝金

ウ、研究推進に直接必要な経費に充当するものとし、間接経費への使用および使用者の変更は認めない

応募資格：次のすべての条件を満たす者
(1) 日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師

(2) 修士・博士の学位を有する現場の看護職（個人またはグループ）で、実践の成果の可視化、もしくは理論化を図ろうとする研究を行おうとする者

(3) 主たる申請者が科研費の申請資格がない者

(4) これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

応募方法：申請者が、所定の申請書を入力し、当公益信託の受託者（下記）に電子メールで提出。郵送の受付も可

注）ア、各用紙への記入はPC等活字入力によるもの（手書禁止）

イ、所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式を変更したり、所定のページを超えて記入した場合、応募は無効。印刷はA4用紙4ページ

ウ、郵送の場合、片面印刷（両面印刷は不可）。書類は返却しない

エ、申請書は、受託者三井住友信託銀行ホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロード

助成金受給者の義務：

(1) 研究成果の報告書（会計報告書を含む）を受給後3年以内に当公益信託の受託者に提出

(2) 研究終了時には、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出

(3) 研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託中西睦子看護学先端的研究基金より助成を受けた」旨を記載

(4) 当公益信託の事業において研究成果の報告を課すことがある

(5) 未使用の助成金は返金すること

募集締切日：3月17日（金）（郵送は当日必着、電子メールは当日中着信分まで）

審査方法ならびに通知：当公益信託の運営委員会で、書類による審査のうえ採否を決定し、結果は5月上旬頃に申請者に書面で通知

※受給者は、5月26日（金）17:00から（予定）贈呈式に出席のこと

助成金交付期日：採択決定後、受給者の書類が整い次第すみやかに交付

その他：

(1) 助成金は、指定の銀行口座等へ振り

込む

(2) 所属機関への委任経理とする場合、間接経費の使用および使用者の変更は認めない

申請書掲載URL：<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list.html>

電子メール提出先：kouekidenshi@smtb.jp

※件名【中西睦子看護・申請者名】（表記必須）

郵送提出先・照会先：公益信託中西睦子看護学先端的研究基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ

TEL：03-5232-8910（平日9:00～17:00）

FAX：03-5232-8919

E-mail：kouekidenshi@smtb.jp

※件名【中西睦子看護問い合わせ】

案内

第49回

日本保健医療社会学会大会

日時：5月27日（土）～28日（日）

会場：東京都立大学荒川キャンパス（東京都荒川区）

テーマ：実践の場をひらく—研究の可能性の再発見

プログラム：大会シンポジウム「実践の場にひらく—研究の可能性の再発見」池谷のぞみ（麻慶義塾大学）、細野知子（日本赤十字看護大学）、道信良子（福井県立大学）

問い合わせ先：大会事務局

E-mail：jshms49office@gmail.com

URL：<https://jshms-conference2023.jp/>

案内

日本看護倫理学会

第16回年次大会（ハイブリッド開催）

日時・開催方法：

・現地会場：6月3日（土）～4日（日）

・オンライン配信：7月2日（日）まで

会場：聖路加国際大学（東京都中央区）

テーマ：ソーシャル・ジャスティス—誰ひとり取り残さない社会のために看護職としてできること

プログラム：大会長講演「誰ひとり取り残さない社会のために看護職としてできること」麻原きよみ（聖路加国際大学）／基調講演「新しいICNの倫理綱領—看護職の社

会声明として」手島恵（千葉大学）／特別講演1「看護と倫理の言葉たち」小西恵美子（鹿児島大学）／2「政治哲学と看護倫理」小林正弥（千葉大学）／3「倫理的組織文化をつくる（看護管理と倫理）」勝山貴美子（横浜市立大学）／教育講演1「人の物語に触れること、なぜそれはケアなのか」宮坂道夫（新潟大学）／2「医療と公衆衛生の倫理—COVID-19パンデミックの経験から」大北全俊（東北大学）／シンポジウム「各現場での倫理教育の実践と課題」相原ひろみ（大阪公立大学）、鶴若麻理（聖路加国際大学）、久間朝子（福岡大学病院）、小野若菜子（聖路加国際大学）、三森寧子（千葉大学）／市民公開講座 リレー講演「健康と病いの語り」鷹田佳典（日本赤十字看護大学）、射場典子（聖路加国際大学、ディベックス・ジャパン）、栗原幸江（上智大学グリーフケア研究所、マギーズ東京）／特別セミナー「People-Centered Care（PCC）の考え方—聖路加国際病院での実践、JCIやMagnet認証取得の核になるもの」中村めぐみ（聖路加国際大学）、高野真優子（聖路加国際病院）、中新田知佳（聖路加国際病院）

参加登録期間：

・前期登録期間 5月10日（水）まで

・後期登録期間 5月17日（水）～7月2日（日）オンデマンド配信終了まで

参加費：[前期登録] 会員9000円／非会員1万円／学生（大学院生除く）2000円、[後期登録] 会員1万円／非会員1万1000円／学生（大学院生除く）2000円

問い合わせ先：

・大会事務局 聖路加国際大学

〒104-0044 中央区明石町 10-1

E-mail：16thjnea@slcn.ac.jp

・運営事務局 株式会社ユピア

〒456-0005 名古屋市中熱田区池内町 3-21

TEL：052-872-8101（平日10:00～16:00）

FAX：050-3737-7331

E-mail：jnea16@yupia.net

URL：<https://jnea16.yupia.net/index.html>

※掲載情報は2023年2月1日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。